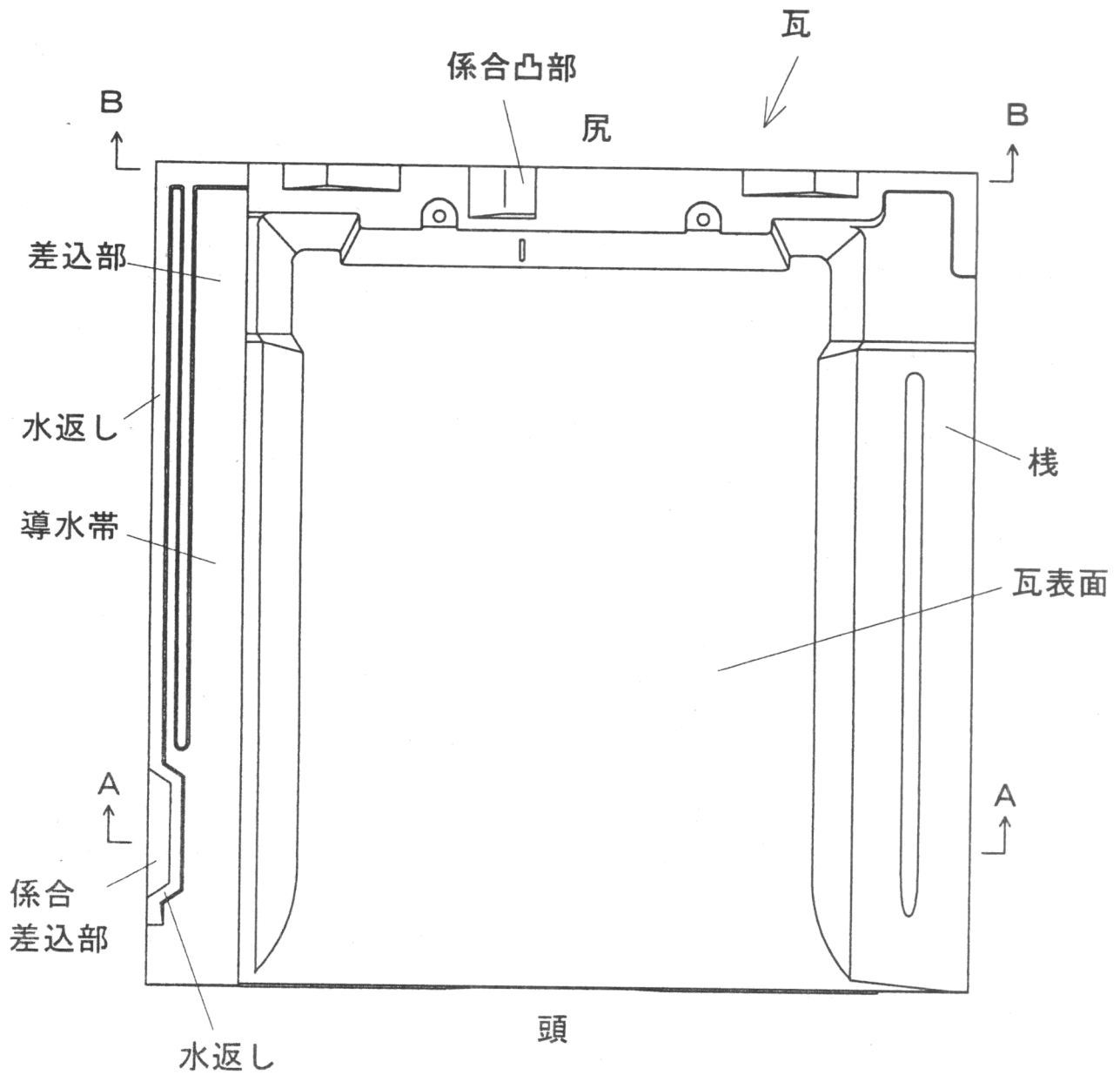


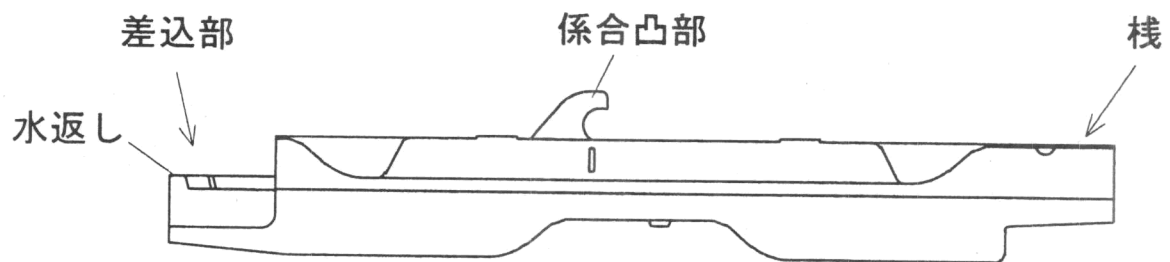
イ号 (タイプ I)

【平面図】



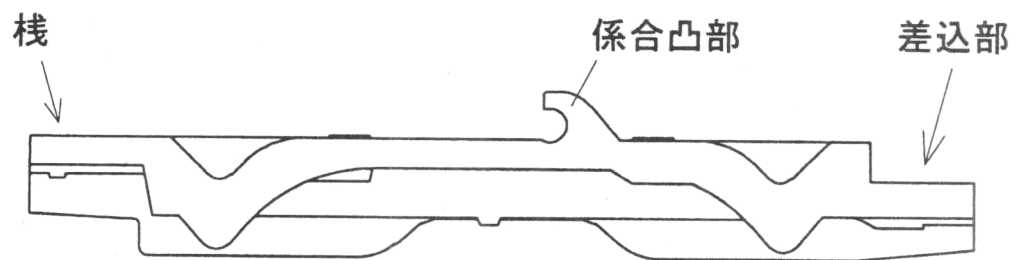
イ号 (タイプ I)

【正面図】



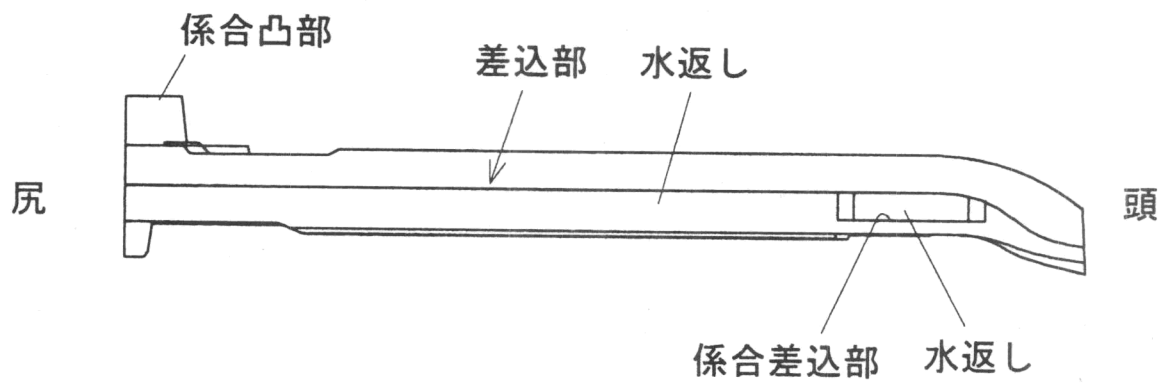
イ号 (タイプⅠ)

【背面図】



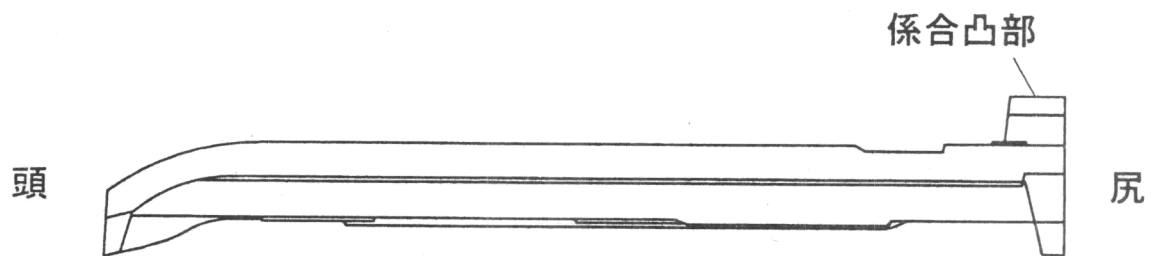
イ号 (タイプI)

【左側面図】



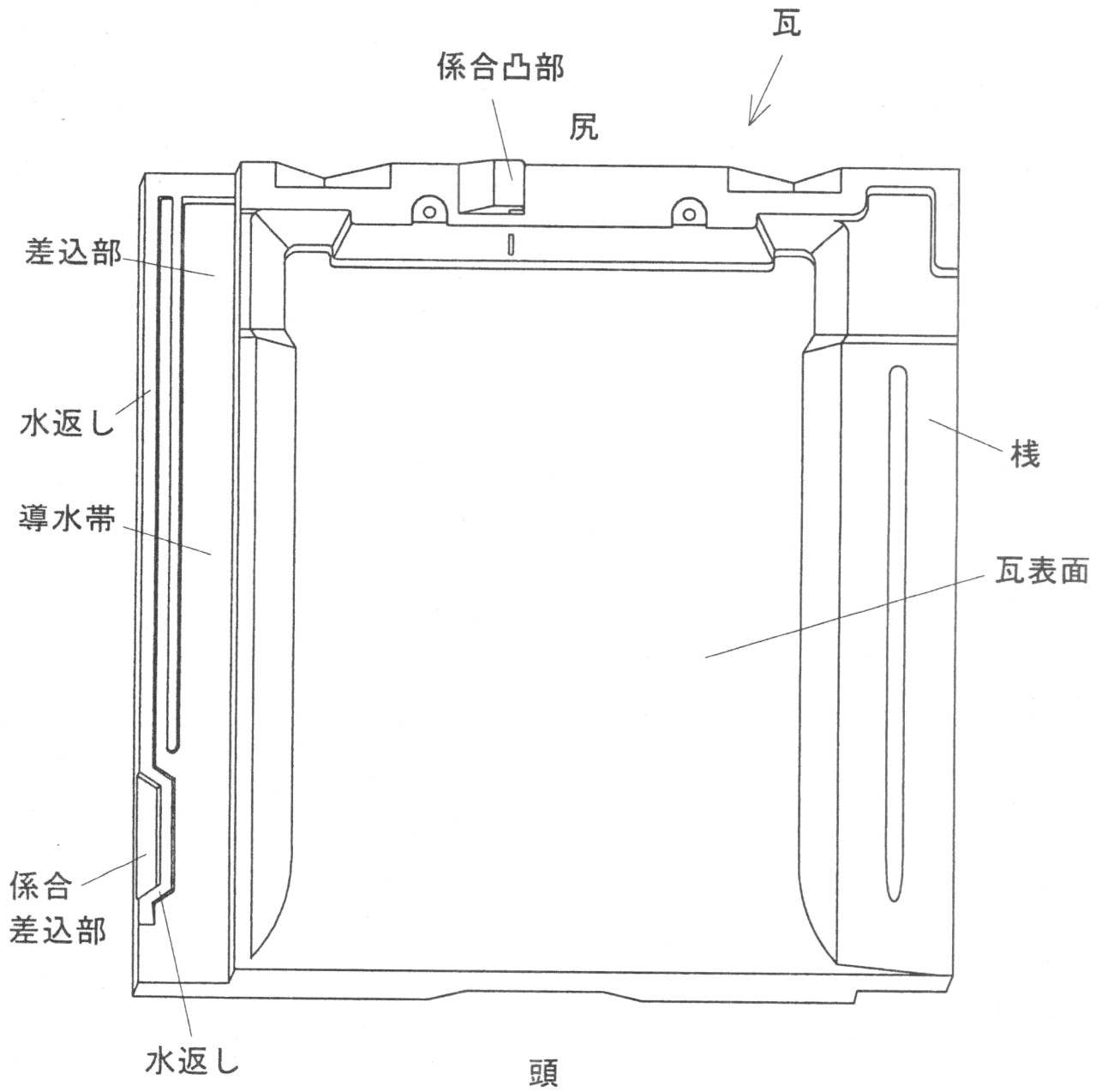
イ号 (タイプ I)

【右側面図】



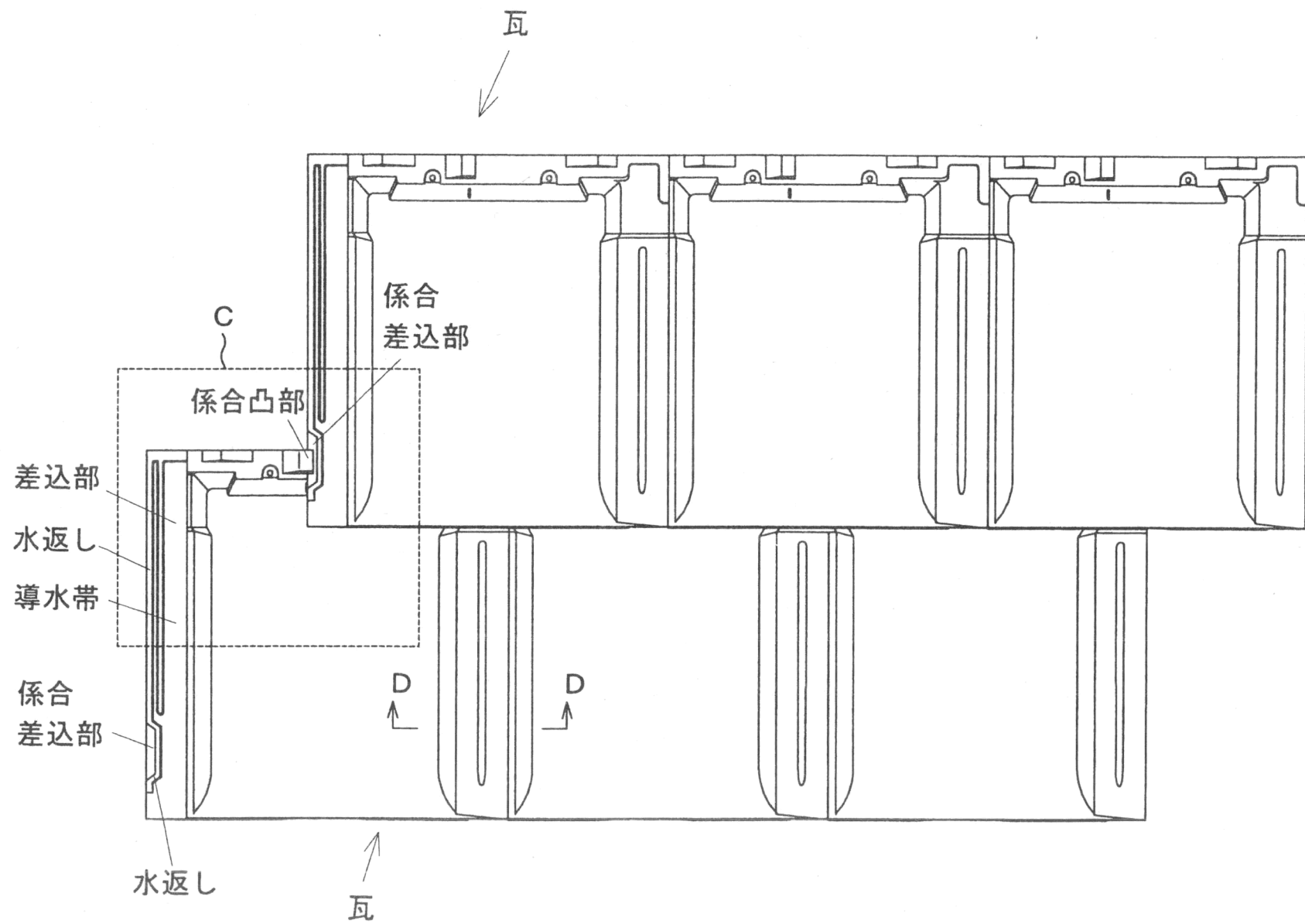
イ号 (タイプ I)

【斜視図】



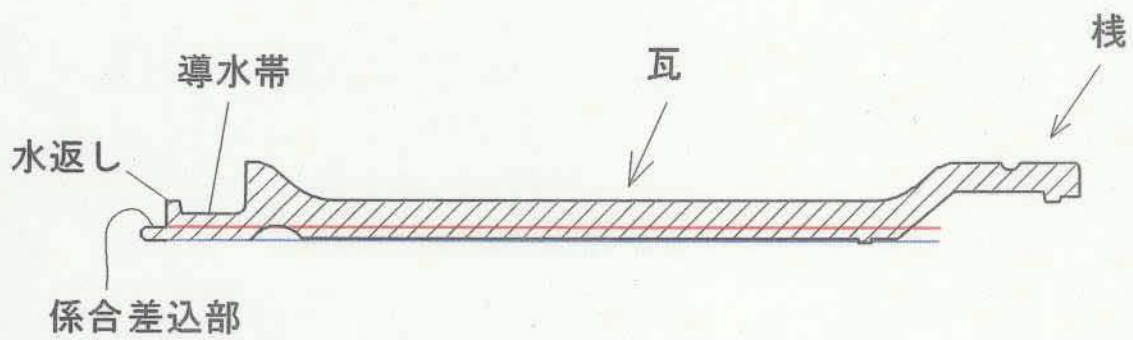
イ号 (タイプI)

【使用状態図】

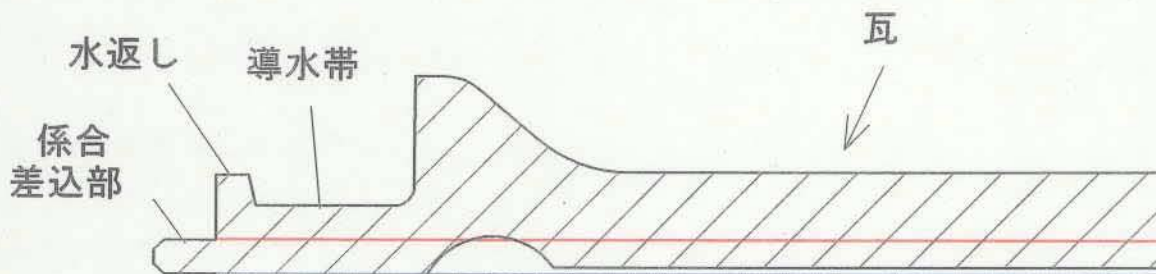


イ号 (タイプ I)

【A-A断面図】



【上記A-A断面図の部分拡大図】

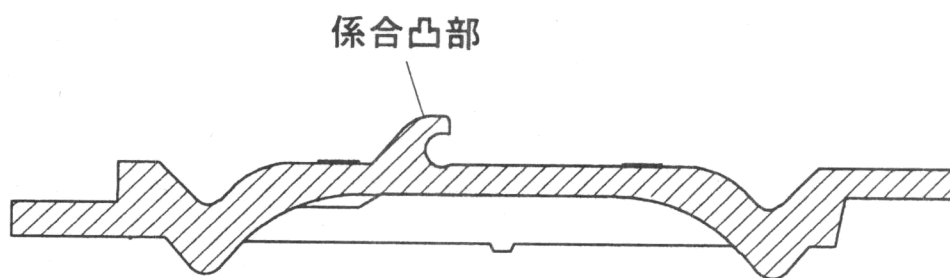


—— 係合差込部の表面のレベルを示す補助線

—— 係合差込部の裏面のレベルを示す補助線

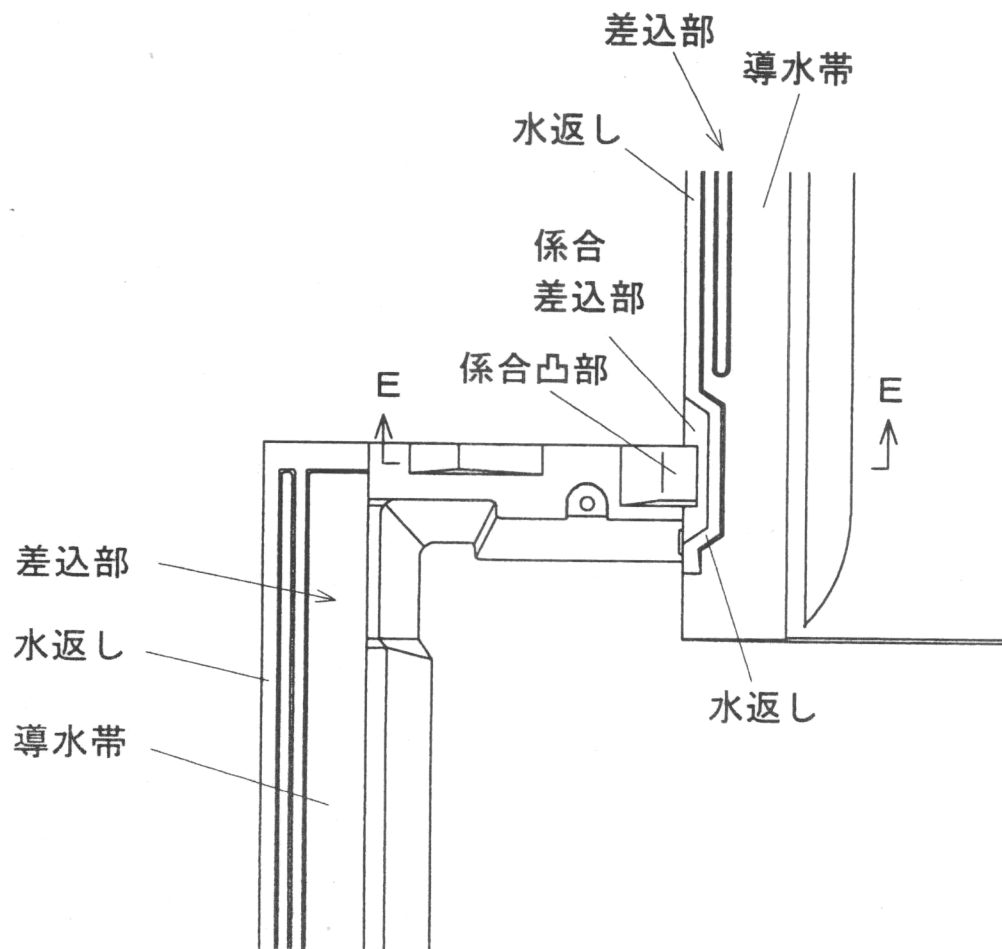
イ号 (タイプI)

【B-B断面図】

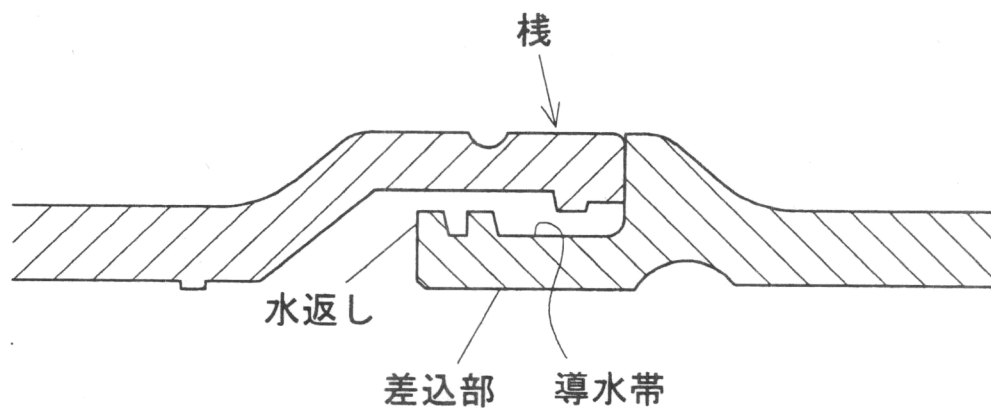


イ号 (タイプI)

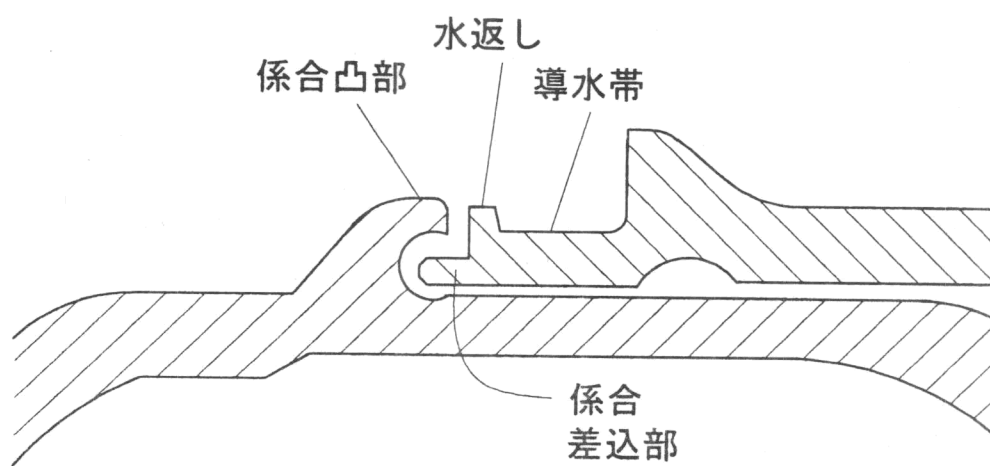
【C部拡大図】



イ号 (タイプ I)
【D-D 拡大断面図】



イ号 (タイプⅠ)
【E-E拡大断面図】



ロ号物件目録（被告提出）

1. ロ号物件の商品名

スーパートライ 110 タイプⅡ

2. ロ号物件の図面

別紙の【平面図】、【正面図】、【背面図】、【左側面図】、【右側面図】、【斜視図】、【使用状態図】、【A－A断面図】、【上記のA－A断面図の部分拡大図】、【B－B断面図】、【C部拡大図】、【D－D拡大断面図】、【E－E拡大断面図】のとおりである。

3. ロ号物件の構成

（1）棧と差込部との同段葺き合わせ部分がほぼ瓦1枚の厚さに納まる葺き合わせ構造をとる厚平形系瓦である。

（2）差込部の頭部側端を残してそれより尻側に位置する途中部に3方の水返しにより導水帯と分離され、かつ瓦裏面とは異なるレベルの表面（上面）を有し、従って一側方と上方の2方にのみ開口した係合差込部を形成している。

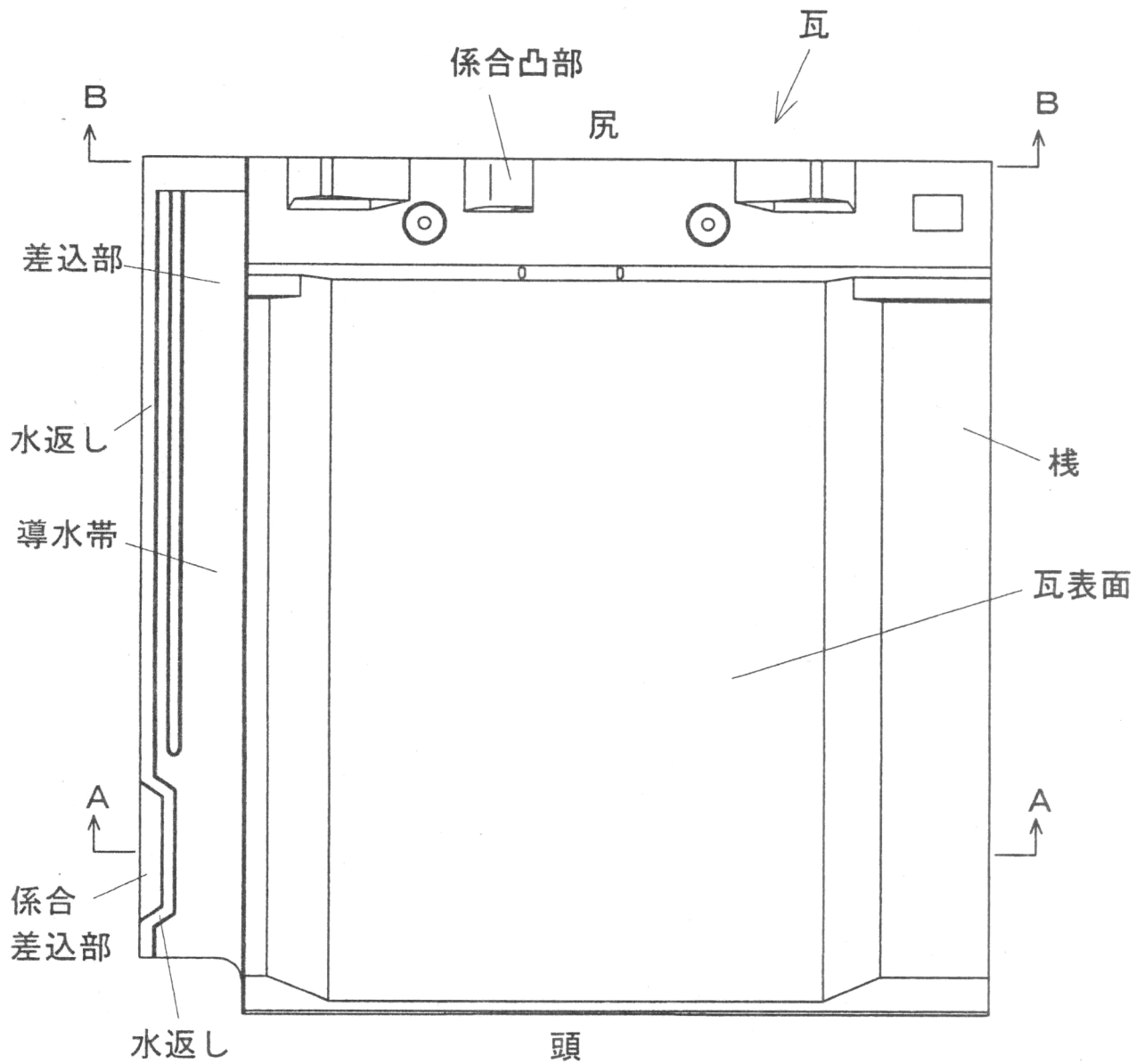
（3）尻部側の中央付近には尻切欠部が無く、該中央付近に瓦表面より高い裏面部分を有する係合凸部を形成してなる瓦である。

（4）葺き合わせたとき斜め下段側瓦の係合凸部が、斜め上段側瓦の係合差込部に、前記一側方からの差し込みによってのみ係合し、前方からの差し込みによっては係合し得ず、係合凸部の裏面部分が係合差込部の上面に当接して上方向の浮きを抑止し、前記係合時の一側方とは反対の他側方へのずれ（振れ）を止め、かつ、係合凸部の前後2つの端面が前記3方のうちの前後2方の水返しに当接して前後両方向のずれ（振れ）を止める。

（5）係止耐風厚平形瓦である。

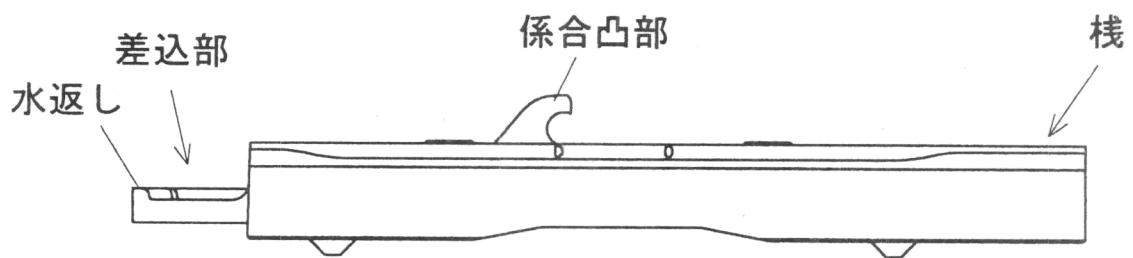
口号 (タイプⅡ)

【平面図】



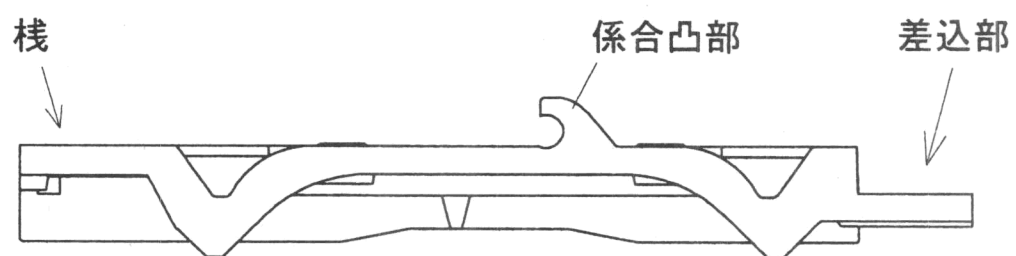
口号 (タイプⅡ)

【正面図】



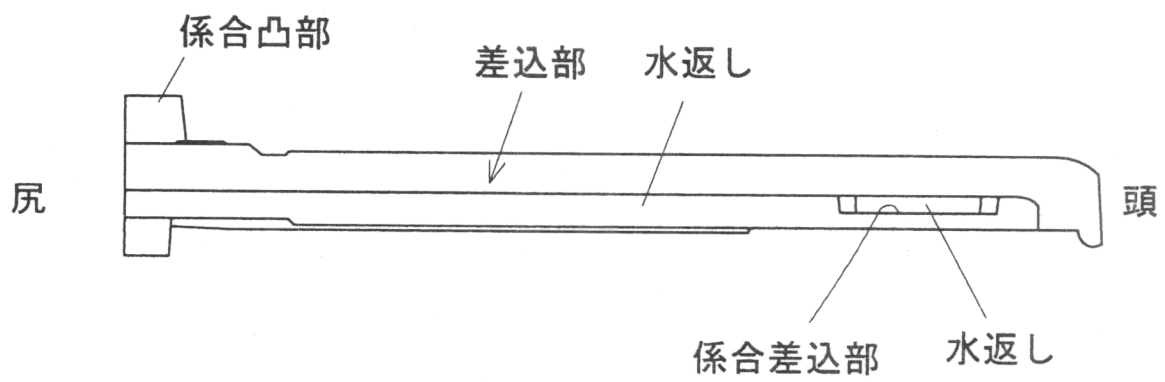
口号 (タイプⅡ)

【背面図】



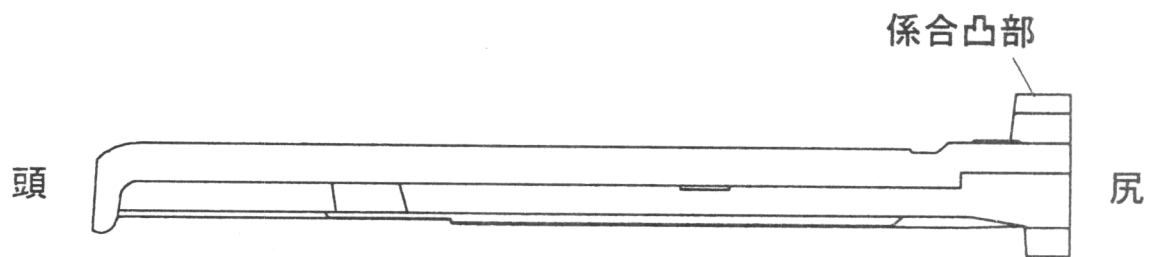
口号 (タイプⅡ)

【左側面図】



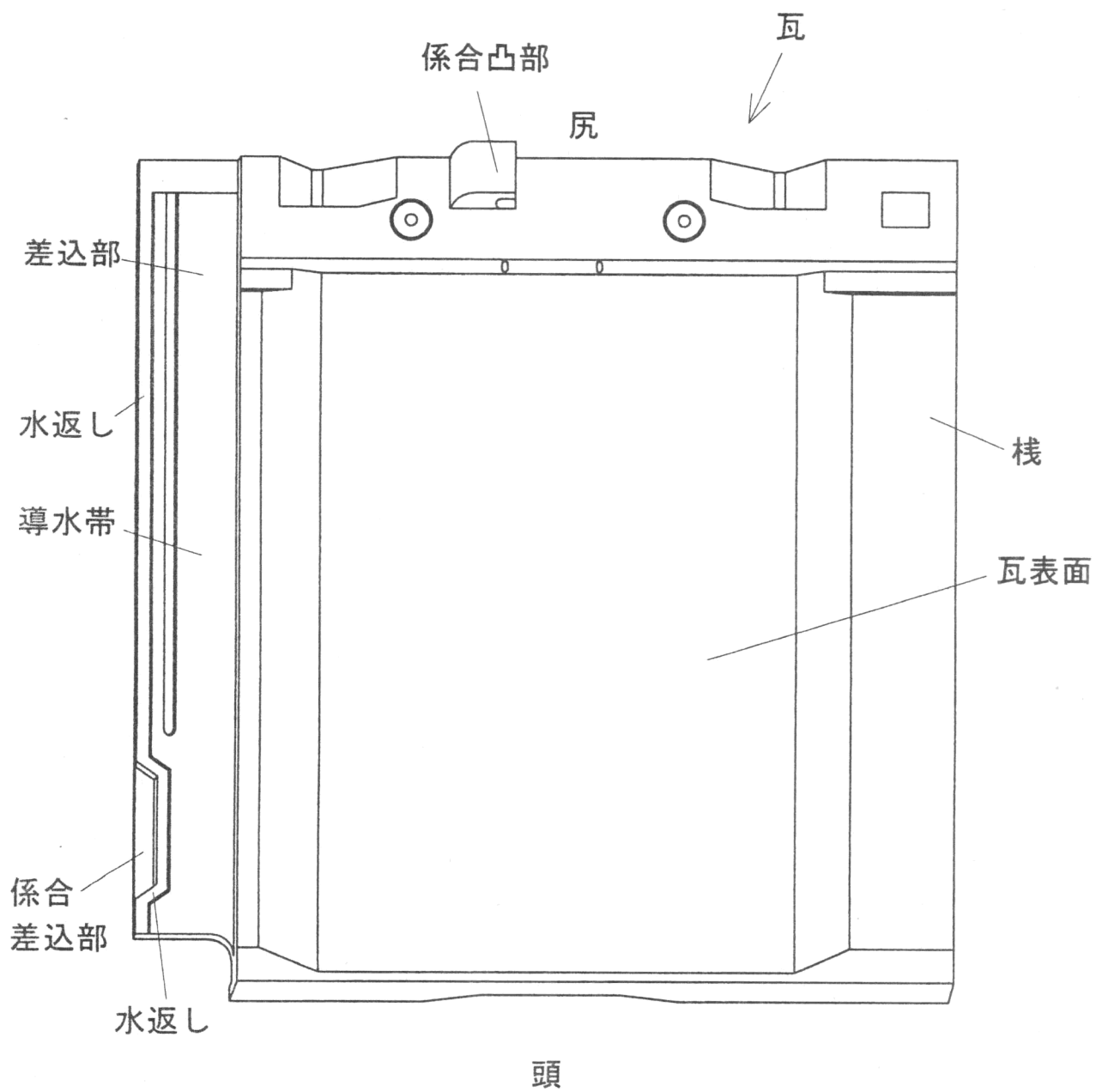
口号 (タイプⅡ)

【右側面図】



口号 (タイプⅡ)

【斜視図】



【使用状態図】

